

直江兼続ゆかりの地を巡る



戦国を生き抜き、幕末まで続く米沢藩の始祖となった上杉景勝に終生仕え、その知勇により、景勝をはじめ領民の信頼も高かった希代の名称、直江兼続。彼の出生地と言われ、景勝と共に幼少を過ごしたとされる南魚沼で、ゆかりの地を訪ねて戦国の世に思いをはせてみよう。

雲洞庵

景勝公、兼続公の幼少教育地

飛鳥時代から奈良時代に建立されたと伝わる、越後一の名刹。古い木造の門や本堂、歴史を感じさせる杉の巨木たち、そして苔むした境内……。六日町の田園風景の奥に忽然とある、異空間的パワースポットとして人気。

上杉景勝と直江兼続は、幼少時にはここに引き取られ、教育を受けたという。なるほど、あまりに悠然とした境内に、儀を重んじたという二人のルーツを感じることができる。

ツインタワーから約30分
問合せ ☎025(782)0520
(雲洞庵)



本堂にある景勝・続勉学の図
(絵 中村麻実画伯)

与板城跡

景勝を支えた直江兼続居城跡

上杉景勝の執政を務めた直江兼続が居城としていた城跡。今は城山稲荷社がある。関が原後に上杉家が会津に移封される際に、兼続家臣が植えたという「城の一本杉」がまだ残っている。

ツインタワーから約60分
問合せ ☎0258(72)3102
(長岡市与板支所)



▲与板城跡

▼与板城の本丸跡 (現 城山稲荷社)



ホテル坂戸城

大河ドラマ「天地人」ロケスタツフ逗留宿

天地人のロケスタッフが宿泊した宿。館内の廊下などに天地人ゆかりの写真が多数掲示されている。朝食や日帰り温泉として外部客の受入れも行っている。

ツインタワーから約30分
問合せ ☎025(773)3333
(ホテル坂戸城)

Who??

直江兼続

その出生は、南魚沼市とも湯沢町ともいわれている(詳細不詳)。上杉謙信の急死を受けて起こった家督争いで、長尾景勝(後の上杉景勝)側につき、景勝の勝利に大きな貢献を果たし、以降景勝治世の越後、移封後の会津を執政としてよく納め、後の米沢藩の礎を築いた。智勇兼備の名将と伝わり、戦国末期の動乱下で、何度にも上杉家の存亡の危機を救ったとする英雄伝では、義を重んじたとされる。高視聴率を誇った、大河ドラマの「天地人」は兼続が主人公。



NHK大河ドラマ「天地人」DVD

直江兼続像



魚野川を挟んで、三国街道を見下ろす交通の要所に建てられた山城跡地。上杉景勝や、直江兼続が城主として、上杉家の本拠地春日山城を支えた重要な支城であった。坂戸山麓には、両公の生誕碑もある。

ツインタワーから約40分
問合せ ☎025(773)3756
(南魚沼市教育委員会)

